

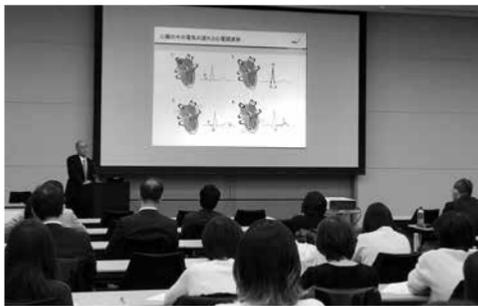
日本アンダーライティング協会

第63回教育講習会開催

「基本的な心電図波形の読み方」テーマに

日本アンダーライティング協会は昨年12月12日、大阪市の大同生命本社で第63回教育講習会を開催した。Gen Re (ジェンリー)の医師・加藤博樹氏が「基本的な心電図波形の読み方」をテーマに講演し、各社の査定担当者50名が参加した。当日は、心臓内部の電気伝導とそれに基づき現れる心電図波形の一連のプロセスについて説明の上、心電図検査がさまざまな心疾患発見の糸口になる一方、労作性狭心症のよう

に現れない心疾患があることや、心電図異常があっても必ずしも心疾患があるとは限らないことなど、心電図をどう査定を行う上で、実践的な内容へ講演が展開されていった。また、心電図に異常があっても、所見の中には保険引受リスクの高いもの、低いものの違いがあり、これらを見分けるためには波形のどこに注目したらいいのかという解説に、参加者は大変興味深く聞き入っている様子だった。



ジェンリーの加藤博樹氏が講演

うに安静時には心電図に現れない心疾患があることや、心電図異常があっても必ずしも心疾患があるとは限らないことなど、心電図を理解するための基礎知識

ど、査定を行う上で、実践的な内容へ講演が展開されていった。

また、心電図に異常があっても、所見の中には保険引受リスクの高いもの、低いもの

識の講習から始まった。さらに、心電図を読む上で、異常波形の中には心筋梗塞などの既往がある可能性を考慮する必要があることなど、心電図をどう査定を行う上で、実践的な内容へ講演が展開されていった。また、心電図に異常があっても、所見の中には保険引受リスクの高いもの、低いものの違いがあり、これらを見分けるためには波形のどこに注目したらいいのかという解説に、参加者は大変興味深く聞き入っている様子だった。

常所見の見え方とそのリスクの捉え方まで説明があり、大変参考になった。臨床医学の観点とともに、保険医学の観点からも説明があった。今回学んだ内容を、自社の査定標準の検証や今後の審査の参考にしたい」などの声寄せられた。

(文責：アフラック生命契約審査部・岡崎舞子、森田里菜)